

葉山町の福祉行政は支援を求める町民にとって頼れる存在か？

6月開催の第2回定例会で、生活困窮者を支援する相談窓口の設置、最近話題になっているヤングケアラーやひきこもりの問題など福祉全般について質問しました。これらは、いずれも従来の福祉6法が想定していなかった、今日的なしかし今後解決を迫られる重要な福祉課題だと考えています。

新しい福祉課題への対応が難しい町行政

《生活保護に至る前の人の自立支援》

わが国には、生活に困窮したときの最後のセーフティネットとして生活保護制度(利用に当たってのハードルの高さが問題になっている!)がありますが、生活保護に至る前の、生活に困窮する国民の自立を支援する目的で、平成27年度に「生活困窮者自立支援制度」ができました。

この制度は、家賃給付などによる居住支援、就労に向けた就労準備支援、衣食住などの緊急的支援、子どもの学習支援などを内容とするもので、福祉事務所設置自治体である市が直営または委託により実施しています。

残念ながら、町村の葉山町はこの事業を実施していません。代わって、横浜駅西口にある神奈川県社会福祉協議会の「ほっとステーション」が葉山町民の相談を受けています。

その後法改正が行われ、町村も一次相談窓口を設置すれば、国が人件費の4分の3を補助してくれることになりました。この「一次相談窓口」を設置するよう、今議会を含めて4回にわたって求めてきましたが、町は未だに設置すると言いません。

《ヤングケアラーやひきこもる中高年》

最近の国の調査で、ヤングケアラーやひきこもる中高年の存在が新たな問題として注目されています。従来の福祉6法制定時には想定していなかった、新たな福祉課題です。ヤングケアラーやひきこもる中高年については、生活困窮者と同様、葉山町としてほとんど実態が把握できていないのが現状で、これは国の福祉制度の欠陥ともいえます。

《身近に相談窓口がない町村⇒福祉制度格差》

町村には福祉事務所と生活困窮者自立支援窓口がありません。これは、許し難い行政サービス格差と

考えます。お隣の逗子市には、社会福祉課(社会福祉係・保護係)があり、この課と逗子市社協(生活困窮者自立支援担当)が連携して、様々な理由で生活に困っている市民の支援に当たっています。町民にとって、この取り組みの差は大変大きいと思っています。

コロナ禍は、社会的弱者により重くのしかかり苦しめています。日本国民の経済格差は今後さらに拡大するとみる識者もいます。自治体の規模に関わりなく、生活困窮者の問題は行政の基礎的業務のはずです。サービスに格差があってはなりません。この問題には引き続き取り組んでいきます。🍀

新型コロナワクチンの接種で思うこと

7月に入って、40代、50代の方の重症化が顕著になってきました。年寄りの私は、働き盛りの人たちのワクチン接種を優先しないでいいのだろうか？とモヤモヤ考えてきました。難しい問題です。

町や医療従事者をはじめ関係者の皆さん、ご苦労様です。そしてありがとうございます。



🍀 ワクチン集団接種会場の葉山町福祉文化会館

Kazuo's Hyotan Column

「国が必ず助けてくれる」が幻想に終わる日が?!

街には物が溢れ、テレビは終日笑いを届けてくれる。コロナ禍で、生活は少々不便ではあるが、いずれ収束するだろう。いやいや、するはずだ。

だがしかし、コロナ禍で生活と事業が脅かされる国民の苛立ちや悲鳴と国全体を覆う閉塞感。医療先進国だと思っていたら簡単に医療崩壊し、自前のワクチンもない日本。

そうしたなか、この7月も日本中のあちこちで発生した豪雨。気象災害の激甚化を見せつけるかのようだ。強大化した台風の襲来も心配だ。毎年の災害が、日本の国力をじわじわと低下させることにならないか大いに気になる。

さらにさらに、GDPの2倍以上・1,000兆円を超える国と地方自治体の借金に加えてコロナ禍で更なる多額の国債発行。GDPは世界第3位だが国民一人当たりGDPは23位(2008年度。今は30位とも)。国際競争力に陰りが見える日本の企業。国民の幸福度62位。食料自給率38%。エネルギー自給率11.8%。

こんな状況の中で、首都直下や南海トラフ地震が発生したら、あるいは強大化した台風や豪雨が東京湾をはじめ3大湾で洪水・高潮を起こしたら、日本はどうなる? コロナ対策と五輪開催で判断ミスを繰り返し迷走する政治と行政。国は、それでも私たちの生活を守ってくれる存在であり続けてくれるのだろうか?

日本はもはや大国ではないし、胸を張れる先進国でもない。しかも地震多発地帯の真っ只中にある。いつ、今の私たちの生活がひっくり返るかわれない、危険をはらんだ状況の中にいることを直視し、最低限のちと生活を守る道筋を見つけ出すことが喫緊の課題だ。他人事ではない。既に、コロナ禍で国が当てにできる存在でないことに気づかされた人もいる。

今秋行われる総選挙。これからの日本丸の舵取りを如何にするか、この日本の置かれた厳しい現実を国民に示した上で、大いに議論を闘わせて欲しいものだ。



議会活動

議員就任以来2年間、教育民生常任委員会委員と議会広報常任委員会委員を務めてきましたが、この5月から2年後の任期終了まで、総務建設常任委員会委員と議会運営委員会副委員長を務めることになりました。

教育民生常任委員会委員として、学校給食センター整備事業やクリーンセンター再整備事業などに取り組んできたほか、議会広報常任委員会委員として、年4回定例会終了後に発行される「議会だより」の編集に当たってきました。

総務建設常任委員会では、早速、町内における宅地開発事業の陳情審査があり、陳情者の皆さんの思いと法令との間で、辛い判断を求められました。議会運営委員会では、副委員長として委員長を補佐しつつ議会運営にあたっていきたいと思っています。



中村かずお プロフィール

葉山町議会議員 1942年生まれ 横浜国大経卒
元 横浜市理事・横浜市福祉サービス協会専務理事 元 葉山町町内会連合会長
元 葉桜自治会長 現 社会福祉法人であいの会理事長・葉桜自治会会計担当

連絡先：〒240-0113 葉山町長柄1617-12 TEL/FAX 046-875-6925
Email：170202kn@ozzio.jp URL：https://www.nakamurakazuo.com/

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

